# 【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の４の７第１項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年６月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第55期第１四半期（自　平成26年２月１日　至　平成26年４月30日） |
| 【会社名】 | 菱洋エレクトロ株式会社 |
| 【英訳名】 | RYOYO ELECTRO CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長　　大内　孝好 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区築地一丁目12番22号 |
| 【電話番号】 | (03) 3543－7711 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役専務執行役員管理本部長　　堀切　豊 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都中央区築地一丁目12番22号 |
| 【電話番号】 | (03) 3543－7710 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役専務執行役員管理本部長　　堀切　豊 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町２番１号）<br>菱洋エレクトロ株式会社大阪支店<br>（大阪府大阪市北区中之島二丁目２番２号） |

# 第一部【企業情報】

## 第１【企業の概況】

### １【主要な経営指標等の推移】

| 回　次 | | 第54期<br>第１四半期<br>連結累計期間 | 第55期<br>第１四半期<br>連結累計期間 | 第54期 |
|---|---|---|---|---|
| 会計期間 | | 自平成25年２月１日<br>至平成25年４月30日 | 自平成26年２月１日<br>至平成26年４月30日 | 自平成25年２月１日<br>至平成26年１月31日 |
| 売上高 | （百万円） | 20,461 | 27,708 | 97,887 |
| 経常利益 | （百万円） | 478 | 498 | 2,077 |
| 四半期（当期）純利益 | （百万円） | 317 | 357 | 1,342 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | （百万円） | 1,010 | 99 | 3,204 |
| 純資産額 | （百万円） | 61,926 | 62,833 | 63,112 |
| 総資産額 | （百万円） | 73,475 | 78,662 | 79,893 |
| １株当たり四半期（当期）純利益金額 | （円） | 12.29 | 14.16 | 52.16 |
| 潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額 | （円） | 12.25 | 14.08 | 51.95 |
| 自己資本比率 | （%） | 84.2 | 79.8 | 78.9 |

（注）１　当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２　売上高には、消費税等は含まれておりません。

### ２【事業の内容】

当第１四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

# 第２【事業の状況】

## １【事業等のリスク】

当第１四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

## ２【経営上の重要な契約等】

当第１四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## ３【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第１四半期連結累計期間（平成26年２月１日～平成26年４月30日）における国内経済は、政府による経済政策や為替水準の安定を背景に緩やかな回復局面にありますが、一方で消費増税前の駆け込み需要に対する反動減など一時的な景気の停滞も懸念されています。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、産業分野を中心に設備投資が堅調に推移したほか、Windows XPのサポート終了を見据えたパソコンの増産や買い替え需要が顕著となりました。

このような環境の中で当社グループは、主力商品である半導体やデバイス、ＩＣＴ関連製品の販売、更には中長期的な収益の拡大に向けた高付加価値型のサービス・ソリューションの展開に努めてまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は277億８百万円（前年同期比35.4%増）、営業利益は４億32百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益は４億98百万円（前年同期比4.1%増）、四半期純利益は３億57百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

売上高の品目別の概況は次のとおりです。

なお、品目別の売上高につきましては、事業の内容をより的確に表示するため、従来の「半導体」「システム情報機器」「電子部品他」の分類を改め、「半導体/デバイス」「ＩＣＴ/ソリューション」の２分類で開示することとしました。

（半導体/デバイス）

売上高は159億48百万円で、前年同期より34億72百万円（27.8%）増加しました。

これは、パソコン向けや産業機器向け半導体が増加したためです。

（ＩＣＴ/ソリューション）

売上高は117億59百万円で、前年同期より37億74百万円（47.3%）増加しました。

これは、パソコン向けソフトウェアが増加したほか、サーバーなどを中心としたシステム案件が増加したためです。

セグメントの業績概況は次のとおりです。

① 日本

パソコン向け半導体やソフトウェアが増加したことにより、外部顧客への売上高は239億37百万円で、前年同期より66億17百万円（38.2%）増加し、セグメント利益は４億11百万円で、前年同期より50百万円（14.1%）増加しました。

② アジア

ゲーム機向け半導体や通信機器向け液晶が増加したことにより、外部顧客への売上高は37億71百万円で、前年同期より６億29百万円（20.0%）増加しましたが、低利益率案件の比率上昇により、セグメント利益は11百万円で、前年同期より24百万円（67.3%）減少しました。

なお、連結損益計算書上の営業利益の金額は、上記の各セグメント利益に調整を行い算定しております。

**(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題**

**当第１四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。**

**(3) 研究開発活動**

**該当事項はありません。**

# 第３【提出会社の状況】

## １【株式等の状況】

### （１）【株式の総数等】

#### ①【株式の総数】

| 種　類 | 発行可能株式総数（株） |
|---|---|
| 普通株式 | 119,628,800 |
| 計 | 119,628,800 |

#### ②【発行済株式】

| 種　類 | 第１四半期会計期間末現在発行数（株）（平成26年４月30日） | 提出日現在発行数（株）（平成26年６月12日） | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内　容 |
|---|---|---|---|---|
| 普通株式 | 28,200,000 | 同　左 | 東京証券取引所（市場第一部） | 単元株式数100株 |
| 計 | 28,200,000 | 同　左 | － | － |

### （２）【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

### （３）【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

### （４）【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

### （５）【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数（株） | 発行済株式総数残高（株） | 資本金増減額（百万円） | 資本金残高（百万円） | 資本準備金増減額（百万円） | 資本準備金残高（百万円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成26年３月５日（注） | △600,000 | 28,200,000 | － | 13,672 | － | 13,336 |

（注）利益による自己株式の消却による減少であります。

### （６）【大株主の状況】

当四半期会計期間は第１四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

（７）【議決権の状況】

①【発行済株式】

平成26年４月30日現在

| 区　分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 無議決権株式 | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式（自己株式等） | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式（その他） | ― | ― | ― |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式　2,974,000 | ― | ― |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式　25,184,100 | 251,841 | ― |
| 単元未満株式 | 普通株式　41,900 | ― | ― |
| 発行済株式総数 | 28,200,000 | ― | ― |
| 総株主の議決権 | ― | 251,841 | ― |

②【自己株式等】

平成26年４月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 菱洋エレクトロ㈱ | 東京都中央区築地１―12―22 | 2,974,000 | ― | 2,974,000 | 10.55 |
| 計 | ― | 2,974,000 | ― | 2,974,000 | 10.55 |

## ２【役員の状況】

該当事項はありません。

# 第４【経理の状況】

## １．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

## ２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第１四半期連結会計期間（平成26年２月１日から平成26年４月30日まで）及び第１四半期連結累計期間（平成26年２月１日から平成26年４月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

# 1【四半期連結財務諸表】

## （1）【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(平成26年１月31日) | 当第１四半期連結会計期間<br>(平成26年４月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,215 | 16,739 |
| 受取手形及び売掛金 | 30,185 | 28,665 |
| 有価証券 | 8,500 | 2,490 |
| 商品及び製品 | 13,313 | 14,200 |
| 繰延税金資産 | 218 | 233 |
| その他 | 934 | 1,214 |
| 貸倒引当金 | △17 | △17 |
| 流動資産合計 | 64,350 | 63,526 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 240 | 236 |
| 無形固定資産 | 536 | 545 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 12,558 | 12,674 |
| その他 | 2,209 | 1,681 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 14,766 | 14,354 |
| 固定資産合計 | 15,543 | 15,135 |
| 資産合計 | 79,893 | 78,662 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 13,022 | 12,357 |
| 未払法人税等 | 620 | 244 |
| 未払消費税等 | 36 | 2 |
| 賞与引当金 | 128 | 251 |
| その他 | 727 | 791 |
| 流動負債合計 | 14,534 | 13,646 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 917 | 930 |
| 繰延税金負債 | 477 | 449 |
| その他 | 851 | 803 |
| 固定負債合計 | 2,246 | 2,182 |
| 負債合計 | 16,781 | 15,829 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(平成26年１月31日) | 当第１四半期連結会計期間<br>(平成26年４月30日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,672 | 13,672 |
| 資本剰余金 | 13,336 | 13,336 |
| 利益剰余金 | 38,555 | 37,871 |
| 自己株式 | △3,945 | △3,282 |
| 株主資本合計 | 61,618 | 61,597 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,248 | 1,187 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 166 | △31 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,413 | 1,156 |
| 新株予約権 | 79 | 79 |
| 純資産合計 | 63,112 | 62,833 |
| 負債純資産合計 | 79,893 | 78,662 |

（２）【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第１四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>(自　平成25年２月１日<br>至　平成25年４月30日) | 当第１四半期連結累計期間<br>(自　平成26年２月１日<br>至　平成26年４月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 20,461 | 27,708 |
| 売上原価 | 18,473 | 25,617 |
| 売上総利益 | 1,988 | 2,090 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | △7 | △0 |
| 給料及び賞与 | 608 | 610 |
| 賞与引当金繰入額 | 117 | 125 |
| 退職給付費用 | 34 | 34 |
| 賃借料 | 89 | 88 |
| 減価償却費 | 46 | 38 |
| その他 | 688 | 762 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,575 | 1,658 |
| 営業利益 | 412 | 432 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 39 | 42 |
| 受取配当金 | 10 | 44 |
| 仕入割引 | 2 | 3 |
| 為替差益 | 8 | － |
| その他 | 6 | 9 |
| 営業外収益合計 | 67 | 100 |
| 営業外費用 | | |
| 有価証券評価損 | － | 9 |
| 売上割引 | 0 | 1 |
| 為替差損 | － | 22 |
| 固定資産廃棄損 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 1 | 33 |
| 経常利益 | 478 | 498 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | － | 6 |
| 償却債権取立益 | － | 1 |
| 保険解約返戻金 | － | 78 |
| 特別利益合計 | － | 86 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 478 | 584 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 218 | 237 |
| 法人税等調整額 | △57 | △10 |
| 法人税等合計 | 160 | 227 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 317 | 357 |
| 四半期純利益 | 317 | 357 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>(自　平成25年２月１日<br>至　平成25年４月30日) | 当第１四半期連結累計期間<br>(自　平成26年２月１日<br>至　平成26年４月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 317 | 357 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 332 | △60 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 361 | △197 |
| その他の包括利益合計 | 693 | △257 |
| 四半期包括利益 | 1,010 | 99 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,010 | 99 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | ― | ― |

**【注記事項】**

**（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）**

**当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。**

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成25年２月１日<br>至　平成25年４月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成26年２月１日<br>至　平成26年４月30日） |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 46百万円 | 43百万円 |

**（株主資本等関係）**

**Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成25年２月１日　至　平成25年４月30日）**

**１．配当金支払額**

| 決　議 | 株式の種類 | 配当金の総額（百万円） | 配当の原資 | １株当たり配当額（円） | 基準日 | 効力発生日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成25年４月25日<br>定時株主総会 | 普通株式 | 387 | 利益剰余金 | 15 | 平成25年１月31日 | 平成25年４月26日 |

**Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成26年２月１日　至　平成26年４月30日）**

**１．配当金支払額**

| 決　議 | 株式の種類 | 配当金の総額（百万円） | 配当の原資 | １株当たり配当額（円） | 基準日 | 効力発生日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成26年４月24日<br>定時株主総会 | 普通株式 | 378 | 利益剰余金 | 15 | 平成26年１月31日 | 平成26年４月25日 |

**２．株主資本の金額の著しい変動**

**平成26年２月25日開催の取締役会決議により、会社法第178条の規定に基づき、平成26年３月５日付で自己株式600,000株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ６億62百万円減少しております。**

**（セグメント情報等）**

**【セグメント情報】**

**Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成25年２月１日 至　平成25年４月30日）**

**報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報**

**（単位：百万円）**

| | 報告セグメント | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|
| | 日本 | アジア | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,320 | 3,141 | 20,461 | ― | 20,461 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,290 | 23 | 1,313 | △1,313 | ― |
| 計 | 18,610 | 3,164 | 21,775 | △1,313 | 20,461 |
| セグメント利益 | 360 | 36 | 396 | 15 | 412 |

**（注）１．調整額は、セグメント間取引消去であります。**

**２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。**

**Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成26年２月１日 至　平成26年４月30日）**

**報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報**

**（単位：百万円）**

| | 報告セグメント | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|
| | 日本 | アジア | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,937 | 3,771 | 27,708 | ― | 27,708 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,762 | 30 | 1,792 | △1,792 | ― |
| 計 | 25,700 | 3,801 | 29,501 | △1,792 | 27,708 |
| セグメント利益 | 411 | 11 | 423 | 8 | 432 |

**（注）１．調整額は、セグメント間取引消去であります。**

**２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。**

**（１株当たり情報）**

**１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。**

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成25年２月１日<br>至　平成25年４月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成26年２月１日<br>至　平成26年４月30日） |
|---|---|---|
| (1) １株当たり四半期純利益金額 | 12円29銭 | 14円16銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 四半期純利益金額（百万円） | 317 | 357 |
| 普通株主に帰属しない金額（百万円） | ― | ― |
| 普通株式に係る四半期純利益金額（百万円） | 317 | 357 |
| 普通株式の期中平均株式数（千株） | 25,826 | 25,226 |
| (2) 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額 | 12円25銭 | 14円08銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 四半期純利益調整額（百万円） | ― | ― |
| 普通株式増加数（千株） | 86 | 136 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | ― | ― |

**（重要な後発事象）**

**該当事項はありません。**

## ２【その他】

**該当事項はありません。**

# 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

**該当事項はありません。**

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年６月12日

菱洋エレクトロ株式会社

取締役会　御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　上坂　善章　印

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　鹿島　高弘　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている菱洋エレクトロ株式会社の平成26年２月１日から平成27年１月31日までの連結会計年度の第１四半期連結会計期間（平成26年２月１日から平成26年４月30日まで）及び第１四半期連結累計期間（平成26年２月１日から平成26年４月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、菱洋エレクトロ株式会社及び連結子会社の平成26年４月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第１四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

---

（注）１．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
２．ＸＢＲＬデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。